

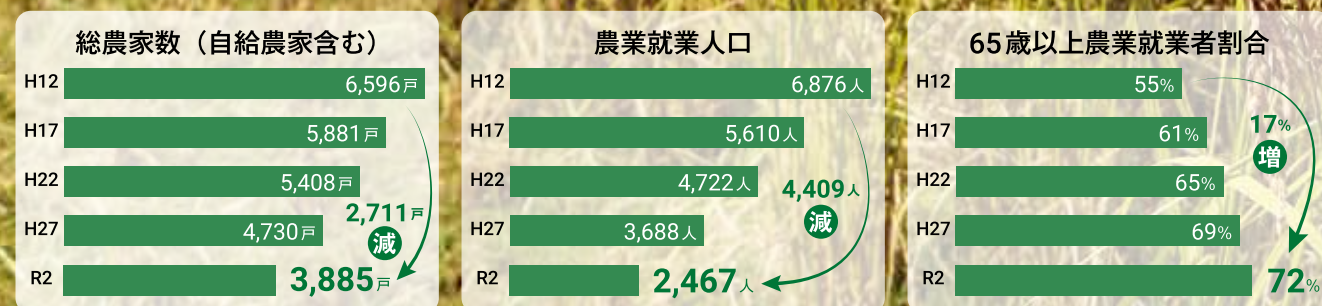
天草型 スマート農業

天草の豊かな食を守る

本市の基幹産業である農業では、温暖な気候を生かしてさまざまな農畜産物が生産されています。しかし、農業従事者は全国的に年々減少傾向にあり、本市も例外ではありません。農業従事者を確保するほか、少ない労働力でいかに効率的に営農できるかが農業を継続していくカギとなっています。

今号では、「天草型スマート農業」について紹介します。 問 農業振興課 ☎32-6792

農林水産省「農林業センサス」より（天草市）



が中山間地域のため経営規模が小さく、少量多品種の栽培形態による栽培コスト高、大消費地まで遠いことによる流通経費高などのため、農業経営で不利な状況にあります。

また、本市の農家数は過去20年間で2711戸、就業人口は4409人減少し、就業者全体に占める65歳以上の割合は17%増加しています。これにより、労働力の減少や耕作放棄地の増加を引き起こし、集落機能の低下が危惧されています。

このような状況を踏まえ、本市では農業協同組合（JA）と連携し、令和3年度に「天草型スマート農業ビジョン」を策定しました。全国的にいわれるAI（人工知能）やロボット技術など高額な機械を導入する「スマート農業」ではなく、現在の天草の農業形態に適した、少ない担い手で効率的・安定的に営農を行う手段として「天草型スマート農業」を推進していきます。

本市では、全国的な早期米産地としての早期水稲や、温暖な気候と南向きの斜面を生かした温州みかんや不知火（デコポン）、ポンカン等の柑類、ミニトマトやキュウリ、花きなどの施設園芸、黒毛和牛や養豚、天草大王といった畜産など、多岐にわたって営農が行われています。

天草市における 農業の現状・課題

市政だより

あまくさ 8 2024 月号

主な内容

- 2 天草の豊かな食を守る
天草型スマート農業
- 7 天草市表彰・教育長就任あいさつ
- 8 消費生活センターに
ご相談ください
- 10 いきいき健康
- 11 くらしの情報
- 26 出会う 広がる 地域おこし協力隊
- 27 学芸員のイチオシ／天草見どころ図鑑
- 28 元気☆あまくさっ／〇〇な人み～つけた!
- 29 ハッピーバースデー
- 30 宝島のわだい
- 32 市民のひろば
- 34 休日在宅病(医)院／水道修繕当番店
献血日程
- 35 お出かけ情報／市長コラム
- 36 大好評!夏休みイルカプログラム
銀天街を駆け抜けよう! Amakusaスト陸

天草市公式 SNS



人のうごき 6月末日現在

6月中の異動				※()内は前月比	
人 口	72,447人	(65減)	出生	27人	
男	34,302人	(24減)	死亡	115人	
女	38,145人	(41減)	転入	114人	
世帯数	36,077	(15減)	転出	91人	

問い合わせ先

本 庁	天草市役所 ☎23-1111 〒863-8631 天草市東浜町8番1号
支 所	牛 深☎73-2111・有 明☎53-1111 御所浦☎67-2111・倉 岳☎64-3111 栖 本☎66-3111・新 和☎46-2111 五 和☎32-1111・天 草☎42-1111 河 浦☎76-1111

「天草型スマート農業」＝「機械の共同化」＋「受委託作業の推進」＋「作業の省力化」

【具体的な推進方針】

※防除…害虫の発生を防ぐ ※施肥…肥料を与える

	想定するスマート農業
水田振興	ドローンや無人ヘリによる共同防除・施肥や水管理システムを活用した管理システムの導入、あぜへの防草シートの導入による作業の省力化 など
果樹振興	小規模な樹園地の基盤整備、施設の共同化、電動剪定バサミやハウスビニールの自動巻き上げ機材の導入、除草や施肥用機械の共同購入の推進 など
園芸振興	施設の共同化、共同選果体制の検討、ハウスビニールの自動巻き上げ機材の導入や生分解性マルチシート等による作業の省力化 など
畜産振興	監視カメラシステム、分娩予知・発情発見システム等ICT機器の導入やスタンション自動開閉装置等の導入、放牧の推進による作業の省力化 など
農村環境の保全	中山間直接支払い、多面的機能交付金事業等による共同作業の推進、農地等の草刈り作業の労力の低減のための防草シートの普及 など

【普及にあたっての進め方】

農業者・JA・県・市が連携し、現地での実証実験や費用対効果の検証などを行います。また、品目ごとに分科会を設け、ビジョンに基づいた事業創設、ビジョンの見直しなども検討します。方針などへの要望や相談は、農業振興課または関係機関にご連絡ください。

天草型スマート農業ビジョンとは

本市の農業の特性や生産環境、社会情勢などを踏まえつつ、品目ごとの課題を洗い出し、その解消に向けた技術の開発や普及を段階的に推進します。

また、農業者（事業主体）の経営を圧迫しないよう、高性能農機具等の導入は必要最低限にとどめ、営農が継続できるような取り組みとして高齢者の労力低減などを図ります。

【キーワード】

機械の共同化

農家の機械購入・管理の経費削減を図り、農家の負担軽減を目指します。

受委託作業の推進

限られた労働力の有効活用を図り、品質・収入生産性の高い農業経営を目指します。

作業の省力化

農業機械やICT機器などを導入して、作業の効率化や自動化を図り、生産性の向上を目指します。

作業時間が短縮できました

農事組合法人

天草営農組合（下浦町）

interview

組合長 大塚 基生 さん



川崎 良信 さん



天草営農組合では、早期水稲や飼料稲などの農地約36haを管理しています。昨年、田んぼの水管理を自動で行ってくれる水田用自動給水機「アクアポート」を試験的に4機導入。それまでは、管理している農地を全て見て回るのに毎日2時間以上かかっていましたが、機器を導入したことで作業時間が短縮でき、その分を他の作業に充てることができました。実際に使用してみて良かったので、市の補助事業を活用し6機を



▲水田用自動給水機「アクアポート」

追加で導入しました。アクアポートの良いところは、田んぼの水位を自動で調節してくれるところです。以前は毎日の確認作業のとき、水が少ない田んぼには給水、満水になれば止水する手間がかかっていましたが、導入後は機械が正常に動いているかを確認するだけでよくなりました。人の手で水位を調節する必要がないため、とても助かっています。水管理は手間のかかる作業ですが、稲の生育に関わる重要な工程です。これから高齢化で労働力が不足していくことを考えると、作業の省力化のためにも設置数を増やしていきたいです。

interview

農事組合法人

宮地岳営農組合（宮地岳町）

松崎 正和 さん

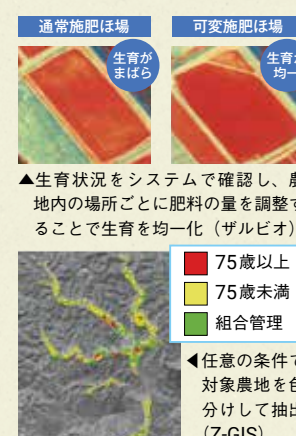


組合長 山崎 三代喜 さん



洲上 真彰 さん

宮地岳営農組合では、町内の営農情報を集約するほか、管理者不在などの農地20haを管理しています。宮地岳は中山間地で、山の間を縫うように農地が点々としているため、管理するうえで多くの時間と労働力を必要としていました。JAの紹介でスマート農業に取り組み始めたのは5年前。最初は、営農管理システム「Z・GIS」を導入しま



した。これまで、農地の管理者や作物などの情報を白地図に書きしりて把握していましたが、エクセルにまとめた情報を衛星からの航空写真上に表示し、必要な情報のみを抽出して表示できるようになったことで、管理が容易になりました。その後、農業散布のための農業用ドローンや栽培管理支援システム「ザルビオ」、水田用自動給水機を導入。移動や労働の省力化ができたほか、生育状況がシステム上で見える化されることで、必要な箇所に必要な量の施肥・防除ができるなど、効率的な営農につながっています。今後は、ドローンの赤外線機能を使ったイノシシ対策にも取り組む予定です。



自治功勞表彰

いし い ふ み お
石井 二三男 さん (76歳)

平成26年7月1日から令和6年
6月30日まで教育長を務める。



自治功勞表彰

かね こ くに ひこ
金子 邦彦 さん (70歳)

平成26年7月1日から令和6年
3月31日まで副市長を務める。

※表彰名・氏名・年齢・表彰理由
■自治功勞表彰…長く公務に従事し、その功績が顕著な人

天草市表彰

「スマート農業に取り組みたい」をサポート!

農作業をスマート化(機械化・省力化)するための設備導入、作業委託にかかる費用を補助します。

畜産スマート農業 推進事業

飼養頭数を増やしたいけど、
1頭あたりの観察時間が減って、
分娩事故や子牛の世話不足にならないか心配…

⇒分娩予知・発情発見
システムを導入
補助額: 対象事業費の
30%以内

分娩・発情兆
候特有の体温
変化をメール
で通知

小規模基盤 整備事業

段差のある傾斜が急な樹園
地は、作業がしにくく、体へ
の負担も大きい大変…

⇒集積を伴う
基盤整備を実施
補助額: 面積に応じて
県・市より定額

面積が
30a ~ 3ha規模で
集積を伴い、果樹
産地協議会で取り
組めば、国事業2
分の1と併用
も可能

果樹スマート農業 実証事業

猛暑の中、防護服を着ての消
毒作業は重労働。黒点病の消毒
は年8回程度も必要…

⇒ドローンを使用した農薬
散布作業を事業者に委託
委託額: 9,000円/10a
※農薬代は自己負担

管理の行き届
いた園地であ
れば大幅な時
間短縮が可能

令和6年7月1日付けで天草市教育
長に就任し、その重責に身の引き締ま
る思いです。
就任後に学校を訪問した際、あいさ
つがあふれ、生き生きと学ぶ子どもた
ちの姿を見させてもらいました。将来
の天草を担うこの子どもたちが、変化
の激しい社会の中でも自信と誇りを持
ち、自分らしく主体的に生き抜いてい
けるよう、これからも学校教育の充実
に取り組んでまいります。そのために
は、家庭や地域の皆さまの温かい見守
りと協力が欠かせません。学校・家庭・
地域が一つになった教育を目指してま
いります。



ひら た こう いち
教育長 平田 浩一

【経歴】

宮地岳町出身。63歳。
県教職員として37年間勤務。平成
23年4月に五和東中学校長就任後、県
教育庁体育保健課長、牛深高等学校長、
天草高等学校長を歴任。定年退職後は、
令和6年5月まで一般財団法人熊本県
スポーツ振興事業団の副理事長。

令和6年第3回天草市議会定例会で議会の同意を得て、7月1日付けで、新
たに平田浩一氏が教育長に就任しました。任期は令和9年6月30日まで。

教育長就任あいさつ

また、スポーツ大会や文化行事に
参加する機会がありました。皆さ
んの一生懸命な姿に元気をもらうと
同時に、天草の人の温かきを実感し、
生涯学習の一層の推進を図りたいと
の思いを強くしました。
「教えるとは希望を語ること。学
ぶとは誠実を胸に刻むこと。」(フラ
ンスの詩人ルイ・アラゴンの言葉)
を胸に、もとより微力ですが、これ
までの経験を生かし、明るく前向き
に精一杯挑んでまいります。皆さま
のご支援・ご指導をよろしく願ひ
申し上げます。

interview

繁殖牛農家 前田 竜一 さん (本渡町本渡)

りゅういち

仕事の効率が格段に
上がりました



畜産経営を始めて7年。現
在は、黒毛和種を46頭、褐毛
和種(あか牛)を5頭、子牛
を30頭飼養しています。
5年前に、スマート農業機
器である分娩・発情発見シス
テム「モバイル牛温恵」を導
入しました。これは、牛の膣
内に機器を挿入し体温を計測
するもので、分娩24時間前に
起こる体温の変化を感知し、
スマホに「段取り通報」とし
てお知らせがきます。一次破
水で機器が体外に出ると「駆
け付け通報」で知らせてくれ
ます。機器の導入前は、分娩
予定前の2週間、毎晩牛舎に
ようすを見に行つて電気を付
けるので、牛にストレスを与
えていましたが、今は機器を



▲機器を牛の膣内に挿入し、尻尾にセンサーを結びつける

使うことで通知があり、予定
が立てやすくなりました。便
利な一方、牛の体内に挿入す
るものなので、消毒や洗浄な
どの衛生管理には細心の注
意を払っています。
また、スマホで映像を確認
できる暗視機能付き監視カメ
ラも導入。スマホに通知が来
たら牛舎に行くべきか映像を
見て判断できるので、牛恩恵
と併せて使用することで、効
率が格段に上がりました。
50頭以上の牛を飼養するの
は家族経営の規模ですが、そ
れを一人でできているのは機
器を活用しているおかげだと
思います。
スマート機器を含め、便利
なツールを他の畜産農家にも
広げることで天草全体の農家
を盛り上げていきたいです。